



ゴルジュに突っ込みグレードアップ？

越 後 三国川仙ノ滝沢

栗原

【日時】 2007年9月8日～9日

【メンバー】栗原L 田邊 棚橋

この週末は仙ノ滝沢、と狙っていたものの、メンバーが集まらない。集会でも集まらずあわや立ち消えかと思われたが、集会後の居酒屋源太郎で錚々たるメンバーを口説き落とし、パーティー成立となった。

9/8 夜半、小雨がパラついたようでテントがしっとり濡れていた。山にはガスがかかり天気不安があったが、台風の影響もあまりなさそうなので出発を決めた。1時間ほど林道を歩くと内膳の落合に到着、取水口を越えたところから入渓する。しばらくは小滝を登ったりしながら順調に進んでいく。東沢を越えてしばらく行くと、左に残置シュリンゲが残されている釜を持った小滝に出合った。釜も深そうだし、その後のゴルジュも厳しそうなので、当然巻きだろろうと私と棚橋さんは右岸を眺めるが、その間に田邊さんが釜に浸かりながら小滝を登って行ってしまった。仕方なく我々も後を追う。がその後のゴルジュは一見絶望的だ。2-3mの小滝だが、ドバドバと水勢が強く、落ち口側壁がかなり立っており、ツルツルのヌメヌメで、どうやっても登れそうもない。再び、私と棚さんは戻って高巻きか、と思うが、田邊さんが落ち口のツルツルヌメヌメをツッパリで果敢に突破してしまった。私はお助けをもらっても耐え切れずに2回もドボンし濡れ鼠になりながら、最後は空身で引っ張りあげてもらった。

その後しばらくはゴーロになるが、南沢と分かると再びゴルジュになる。1296mからの尾根手前のゴルジュは12m滝が登れず、高巻きになる。他の記録を読むとここは大高巻きをしているようだが、田邊さんが大高巻きを嫌い、足場の良くない斜面をトラバース、懸垂12mで少し早めに下りた。が、その先の滝もフリーでは登れず、ザイルを出して登ることになった。

仙ノ滝沢は天場が少なそうなので他の記録から天場に当たりをつけていたが、12m滝を左のルンゼから巻き下ったところにあるはずの天場が見つからず、少し先の河原の脇を整地して天場とした。夕方から霧雨が降り出す、タープの下で焚き火は勢いよく燃え、楽しい宴となった。

9/9 晴れ、今日は長丁場のため、6時過ぎには出発する。とにかく、小滝の連続である。仙ノ滝は右岸から高巻きになる。田邊さんはえーっと思うような悪い草付を登って行ってしまったが、私と棚さんはルンゼを少し上がり、上の傾斜の緩やかな草付から高巻いた。その後、連瀑帯となるが、どれも簡単には登れないものばかりで、時々ザイルやお助けを駆使しながら慎重に登って行く。1ヶ所しよっぱい滝もあり、田邊さんが左岸の草付へ上がって抜けた。二俣は左の本谷山に取るが、2-3mの小滝が続き、それもショルダーやお助けを使い、パワー全開で登っていく。最後は笹藪を1時間ほど漕ぎながら、本谷山から30mほど外れた登山道に飛び出した。3人でお疲れ様の握手をする。晴れた山頂で遠くに近くに連なる山々を山座同定した後、小穂口の頭から中尾ツルネをゆっくりと下山した。

今回、悪い所は終始田邊さんに引っ張ってもらい、田邊さんの真髓を垣間見たという感じだった。私では到底追いつくことはできそうもないが、少しでも近づけるよう力を蓄えていきたい。

【グレード】4級上

【行程】9/8 十字峡(7:00)～内膳落合(8:00)～南沢出合(11:50)～c1(15:55)

9/9 c.1(6:10)～仙ノ滝上(8:00)～本谷山(13:45)～十字峡(17:50)

【地図】兎岳

